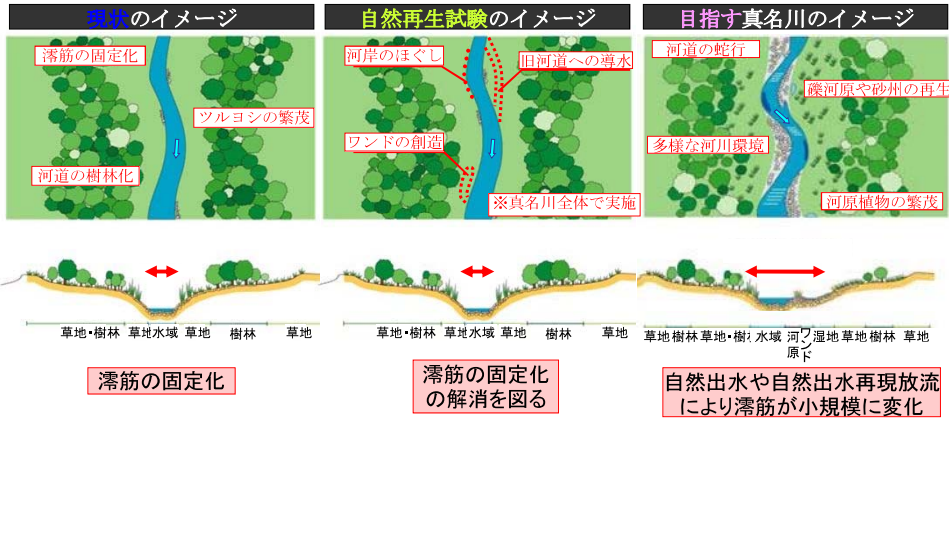


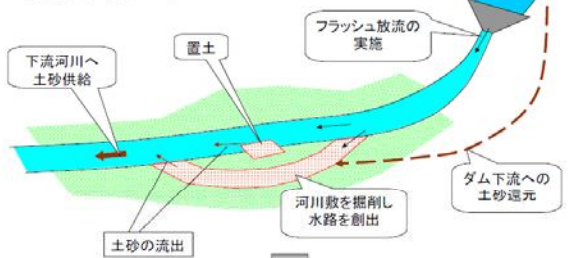
真名川のフラッシュ放流試験と自然再生の方向性

自然出水再現放流とあわせて自然再生試験を真名川全体で適宜実施



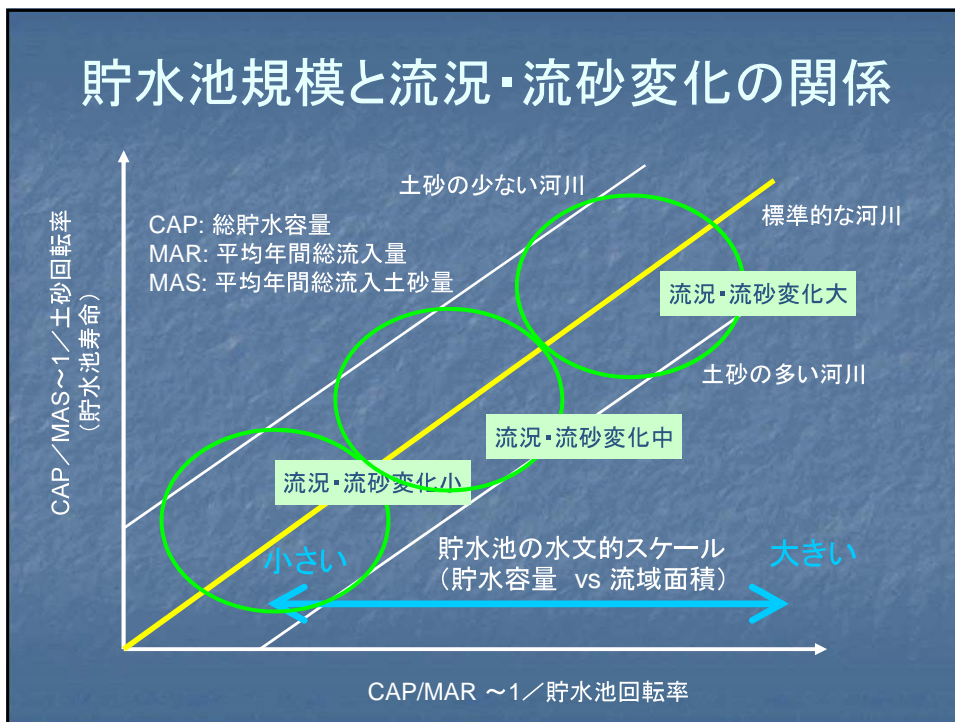
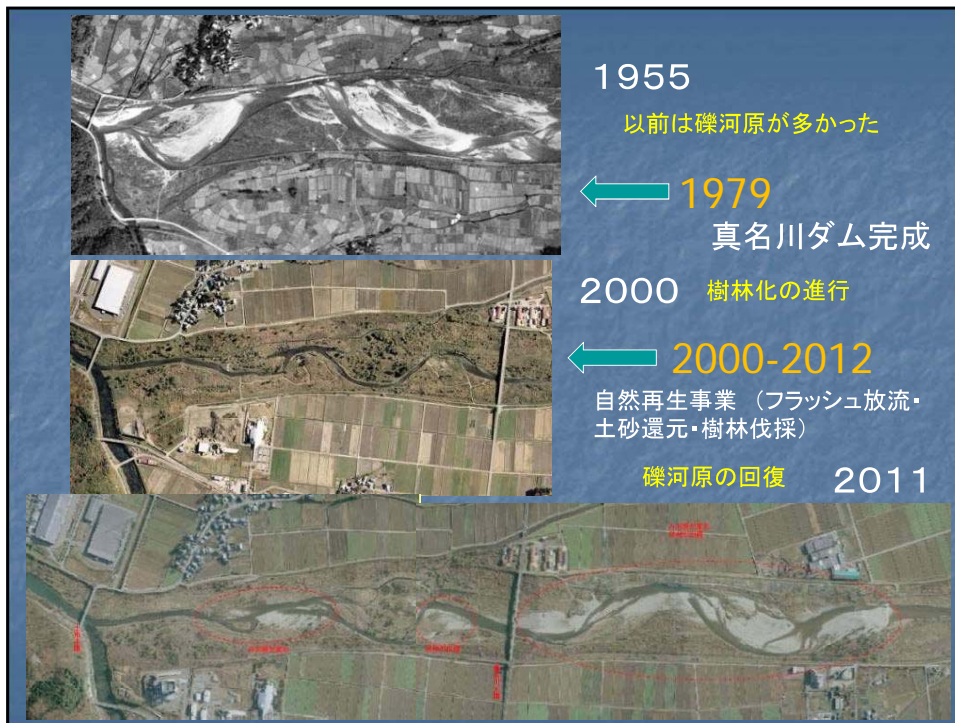
真名川フラッシュ放流 (2007.11.8)

・取り組みのイメージ



流砂が少なく固定化した真名川を
流砂が多く河床が変動する、より自然な真名川へ





弾力的管理の課題

- ダム管理者の意識改革(創意工夫)
- 目的の明確化
 - 維持流量の増量
(ただし大容量必要: + 1 m³/s = 86,400 m³ / day)
 - 流量変動(フラッシュ放流)の導入
(ピーク流量, 放流時間, 放流頻度, 放流時期)
- 気象情報の有効活用
- 流域住民との対話、PRが必要
- モニタリング手法の確立

河川土砂還元の課題

- 目的の明確化
 - ダム機能の維持
 - 下流改善(環境・河床低下・海岸侵食対策)
- 還元対象とする土砂の量と質(細粒分の割合)
- 貯水池からの掘削・運搬・置土方法
- 濁水発生の防止方法の確立
- モニタリング手法の確立

海岸有効粒径集団(0.075-0.2mm, 0.2-2.0mm)

→ 貯水池からの砂分の還元を目指したい